

305 長いものの長さのはかり方と表し方

30501 ◇第1時の授業 p56, p57, p58

- (1) ・ 56ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
・ 追い読みをします(ますりんまで)。 ※追い読み→1人読み
- (2) ・ 2年生の時に、長さの単位を3種類勉強しました。
・ p143を開きます。⑨の「長さの単位」の所を見ます。
・ 追い読みをします。
「長さは」(同)「1cmや1mm, 1mが」(同)「いくつ分あるかで表す」(同)
「cmなどの長さを単位という」(同)「1cmは」(同)「10mmと同じ長さ」(同)
「1mは」(同)「100cmと同じ長さ」(同)。
・ その下のものさしの所の図も読みます。
「1cm」(同)「1cmの2つ分は2cm」(同)「1cmの3つ分は3cm」(同)。
・ その隣。「1mmの10こ分は1cm」(同)「1cmを10にわけると1mm」(同)。
・ その隣。「1mm」(同)「1mmの2つ分は2mm」(同)「1mmの3つ分は3mm」(同)。
・ その下の1mものさしの図。
「全部の長さは1m」(同)「5つ赤ポツまで10cm」(同)。
・ p56に戻ります。長さの3つの単位は何でしたか(m, cm, mm)。 ※板書
・ 赤四角にあてはまる単位を、ここから選んで書きます(作業)。
・ 答え合わせをします。
・ Aさん、教室のドアの幅は何ですか(89cm)。同じ人?○をつけます。
・ Bさん、手すりまでの高さは何ですか(69cm5mm)。○つけ。
※ウとエも同様
- (3) ・ ?マーク「上のウとエの長さをはかるには～」とあります。
・ ウの長さは結構長いですね。何を使って測ったのでしょうか。
はるとさんが言っています。赤四角に単位を入れます(m)。
・ Aさん、吹き出しを全部読んで下さい(読む)。
※30cmものさし、1mものさしを出す
- ・ Aさん、しほさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・ でも、何回も測るので、ちょっと大変ですね。
- (4) ・ エのバケツは、面が曲がっているので測りづらいですね。
・ どうすればよいか、みさきさんが言っています。
・ Bさん、読んで下さい(読む)。
・ テープを巻いて、その長さを測りました。
・ でも、これもちょっと大変ですね。
・ 3年生では、このウやエを、簡単に測る便利な道具を勉強します。
- (5) ・ p57を開きます。追い読みします(□1まで)。 ※追い読み
・ ひろしさんは、マットの長さを調べました。
「ぼくの身長より長いな」と言っています。結構長いです。
・ Bさん、こうたさんとあみさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・ 長い長さを測るとき、「1mものさし」や「30cmものさし」では大変です。
- (6) ・ Cさん、その下を読んで下さい(読む)。 ※巻き尺を見せる
・ 何という道具を使うのですか(巻き尺)。丸囲みをします。
みんなで言います(同同同)。
- (7) ・ ?マーク「巻き尺の使い方を調べよう」とあります。
・ 右側の絵が、巻き尺の最初の部分です。
・ Dさん、ますりんの所を読んで下さい(読む)。「0のめもり」に丸囲み。

- ・右の絵で、0の目盛があるものは、上と下のどちらですか(上)。
 - ・「0の目盛」に、赤丸で囲みます。
 - ・下の巻き尺には、「0の目盛」がありません。
 - ・どこを「0」にしていますか(端)。竹ものさしと同じです。
巻き尺の端の部分に赤線、竹ものさしの端の部分にも赤線。
 - ・下のような巻き尺は、この穴に釘を刺して、そこからの長さを測るための巻き尺です。
- (8) ・ p58p59を開きます。マットの長さを測っています。白い部分です。
- ・ますりんが言っています。「0から測っているね」
 - ・「0の目盛」がある巻き尺を使っています。
 - ・そういうときは、「0の目盛」をマットの端に合わせます。赤囲み。
 - ・そして、マットのもう一方の端を指します。目盛は何ですか(40)。
 - ・これはただの「40cm」ではありません。1mはどこですか(指さす)。
 - ・赤く「1m」となっていますね。2mはどこですか(指さす)。
 - ・赤く「2m」となっていますね。
 - ・なのでここは、ただの「40cm」ではなく「2m40cm」と言います。
 - ・みんなで言います。「2m40cm」(同同同)。①の脇に書きます。
- (9) ・ 次の、ますりんが指している所を見ます。
「この目盛は1m43cmです」と言っています。
- ・確かめます。指している所は何十cmと何十cmの間にありますか(40cmと50cmの間)。
 - ・なので「四十何cm」ですね。「40の目盛」から数えます(40, 41, 42, 43)。「43cm」ですね。
 - ・でも、ただの「43cm」ではありません。
 - ・ここは何mと何mの間にありますか(1mと2mの間)。
 - ・だから「1m43cm」なのです。みんなで(同同同)。
- (10) ・ 説明練習をします。 ※説明台紙の掲示
- ・ まず「m」を読みます。
 - ・ ()mと()mの間なので()m何十cm。
 - ・ 次に「cm」を読みます。
 - ・ (0)cmと(0)cmの間なので()m(0)何cm。
 - ・ 答えは()m()cmです。
- (まずmを読みます。1mと2mの間なので1m何十cm。次にcmを読みます。40cmと50cmの間なので1m40何cm。答えは1m43cmです)。
- ※追い読み→全員読み→1人読み
- (11) ・ Bさん、②を読んで下さい(読む)。問題は3問あります。
- ・ まず、イの目盛を読みます。
 - ・ イは、何mと何mの間にありますか(2mと3mの間)。
 - ・ 「赤い3m」は書いてありませんが、2mと3mの間にありますね。
 - ・ イは、何十cmと何十cmの間にありますか(10cmと20cmの間)。
 - ・ 10cmから、1つずつ数えてもいいです。
 - ・ でも、ここは10cmと20cmのちょうど真ん中です。何cmですか(15cm)。
 - ・ 答えは、いくつですか(2m15cm)。②の脇に書きます。
 - ・ 書いた人は立って説明練習。
- (まずmを読みます。2mと3mの間なので2m何十cm。次にcmを読みます。10cmと20cmの間なので2m10何cm。答えは2m15cmです)。
- ※追い読み→全員読み→1人読み
- (12) ・ 今度は、「1m90cm」はどこか、という問題です。
- ・ 「1m90cm」は、何mと何mの間にありますか(1mと2mの間)。
 - ・ ここからここまでの間にあるのですね。

- ・この中から「90cm」の所を探します。
- ・矢印をつけて、「1m90cm」と書きます。
- (13) ・今度は、「2m25cm」はどこか、という問題です。
 - ・「2m25cm」は何mと何mの間にありますか(2mと3mの間)。
 - ・赤い3mはもっと先にあります。この間にあるんですね。
 - ・「25cm」ということは、何十と何十の間にありますか(20と30の間)。
 - ・矢印をつけて、「2m25cm」と書きます。 ※おとなりチェック
- (14) ・練習問題をします。
 - ・△1は何問ありますか(4問)。
 - ・①の巻き尺を見ます。ウの目盛もエの目盛があります。
 - ・ウもエも、何mと何mの間にありますか(3mと4mの間)。
 - ・4mは、絵には写っていません。でも、脇に赤で書きます(4m)。
 - ・②の巻き尺を見ます。
 - ・オの目盛は、何mと何mの間にありますか(11mと12mの間)。
 - ・「11m」は絵には写っていません。脇に赤で書きます(11m)。
 - ・カの目盛は、何mと何mの間にありますか(12mと13mの間)。
 - ・「13m」は絵には写っていません。脇に赤で書きます(13m)。
 - ・ウエオカの答えを脇に書きます。全部書いたら先生チェック。 ※習熟システム
- (15) ・△2は何問ありますか(2問)。
- ・巻き尺の中に、赤い「m単位」は、「4m」だけです。
- ・こちら側のずっと前は(3m)。こちら側のずっと後は(5m)。赤で書く。
- ・4m20cmは、何mと何mの間にありますか(4mと5mの間)。
- ・3m85cmは、何mと何mの間にありますか(3mと4mの間)。
- ・①②を書いたら、先生チェック。 ※先生チェック
- (16) ・Cさん、こうたさんのまとめ吹き出しを読んで下さい(読む)。
- (17) ・スキル25番を開きます。 ※スキルシステム

★ポイント(30501)

- (1) 長い長さを測るには、「巻き尺」を使うことを知る。
 - 巻き尺の種類には、「0の目盛」があるものとなないものがあること。
 - ・「0の目盛」がない巻き尺は、釘を刺して測るためのもの。
 - 巻き尺の1番大きい単位は「m」。赤で示されている。
- (2) 巻き尺の読み方
 - まず「m」単位を読む。次に「十cm」単位を読む。そして「cm」を読む。

《Q & A》

- (発問1) 問題の矢印は、何mと何mの間ですか？ (1mと2mの間)
- (発問2) なので、何と言えますか？ (1m何十cm)
- (発問3) 問題の矢印は何十cmと何十cmの間ですか？ (40cmと50cmの間)
- (発問4) なので、何と言えますか？ (1m40何cm)
- (発問5) 問題の矢印は、何m何cmですか？ (1m43cm)

○説明のしかた

《おしゃべり》

- (1) まず「m」を読みます。
- (2) 1mと2mの間なので、「1m何十cm」。
- (3) 次に「cm」を読みます。
- (4) 40cmと50cmの間なので、「1m四十何cm」。
- (5) 答えは、1m43cmです。

※巻き尺10m用、裁縫用巻き尺ペア分用意

- (1)・59ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2)・上の巻き尺の、ますりんが指している所を追い読みをします。
 「まずmを読みます」(同)「1mと2mの間なので1m何十cm」(同)
 「次にcmを読みます」(同)「40cmと50cmの間なので1m40何cm」(同)
 「答えは1m43cmです」(同)。 ※追い読み→1人読み
 ※アもイも同様
- (3)・今日は、巻き尺を使って、実際に測りに行きます。
 ・その前に、p59の練習問題をやります。
- (4)・Aさん、△5を読んで下さい(読む)。
 ・何の長さを測るのですか(①②③④)。
 ・右側に3つの道具があります。アは何ですか(50m巻き尺)。
 ・イは何ですか(30cm竹ものさし)。ウは何ですか(1m竹ものさし)。
 ・この3つの中から、どれか1つを選びます。
- (5)・①鉛筆の長さを測ります。アの巻き尺を使う人？
 鉛筆の長さを測るのに50mも必要ありません。
 ・イのものさしを使う人？(挙手多数)。これがちょうどいいですね。
 ウの1mまでは必要ありません。①の脇に「イ」と書きます。
 ・同じようにして②③④を考えて脇に答えを書きます(作業)。
- (6)・答え合わせをします。
 ・②アにした人？(挙手多数)。正解です。廊下は何十mもありますね。
 ・③どれでも測れますが、1回で測りたいのです(ウまたはア)。
 ※バケツの実物を示す
 ・④アにした人？(挙手多数)。正解です。
 バケツのまわりの長さは1mもありません。ウではダメですか
 (ものさしは直線ではないと測れない。曲線を測るときは巻き尺)。
 ※代表児童2名で、バケツの周りの長さを実際に測る
- ・巻き尺をぐるっと1周させて、「0」の所に重なった目盛を読みます。
- (7)・Bさん、△3を読んで下さい(読む)。
 ・どこどこを測るのですか(教室のたてと教室の横)。
 ・写真を見ます。男の子と女の子が教室の横を測ろうとしています。
 ・男の子の役割は何ですか(教室の端を、巻き尺の0目盛に合わせる)。
 ・女の子の役割は何ですか
 (教室のもう一方の端まで巻き尺を延ばして、長さを測る)。
 ・2人で協力して測らないと、測れませんね。
 ※代表児童2名で、教室の長さを実際に測る
- (8)・Cさん、△4を読んで下さい(読む)。
 ・青いバインダーを見ます。「長さ調べ」のプリントが挟まっています。
 ・1つ測るごとに、3つのことを書いてもらいます。
 ・このプリントでは、最初に何を測りましたか(黒板の横の長さ)。
 「はかるもの」の所を書いてあります。指さします。
 ・真ん中の欄には、何を書きますか(見当をつけた長さ)。
 ・ますりんが言っています「予想することを見当をつけると言うよ」。
 ・みんなで言います。「見当をつける」(同同同)。
 ・長さを測る前に、だいたい何m何cmかを、2人で話し合って書きます。
 ・何と予想していますか(4m)。
 ・予想と実際がピッタリ合っていたらすごいことです。
 ・2人で協力して実際の長さを測ります。どのくらいでしたか(3m40cm)。

- ・おしかったですね。このようにして、時間になるまで測ります。
- (9) ・ Dさん、しほさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
- ・ 右側の写真を見ます。
- ・ 何を測っていますか(木のまわりの長さ)。
- ・ 巻き尺は、木の周りをぐるっと1周まわります。
- ・ なので、「0の目盛」と、測る所の目盛が同じ所になります。
- ※「長さ調べプリント」と巻き尺をペアごとに配布
- (10) ・ 巻き尺の「0」を押さえる人が、バインダーを持って記録します。
- ・ 2人で、役割を交代しながら測ります。
- ・ 行っていい場所は〇〇と〇〇…。
- ・ 〇時〇分になったら教室に向かいます。
- ※黒板に明示する
- (11) ・ 教室に戻ったら、先生チェック。

★ポイント(30502)

- (1) 「巻き尺」の良さをまとめる。
 - 長い長さを測るときに使う。
 - 曲線を測るときに使う。
- (2) 巻き尺を使って、いろいろな場所で、長さを測る。
 - Aさんが「0の目盛」を保持し、Bさんが長さの目盛を読む。
 - 木のまわりを測るときは、Aさんの「0の目盛」とBさんの測る目盛は一致する。
- (3) 測る前に、だいたいの長さを予想する。

- (1)・60ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2)・追い読みをします(□1)。 ※追い読み→1人読み
- (3)・上の絵地図を見ます。
- 先生が、建物の名前を言います。みんなは、指さします。
 - 指せたら、反対側の手を挙げます。
 - 学校(指さして挙手)。スーパーマーケット(指さして挙手)。
 - 病院(指さして挙手)。あさみさんの家(指さして挙手)。
 - ※東山公園、郵便局、たつきさんの家も同様
 - 赤ポツがあります。学校の赤ポツを指さします(指さして挙手)。
 - この赤ポツが学校です。学校の出入り口を出てすぐの道だからです。
 - ※東山公園も同様
- (4)・Aさん、①を読んで下さい(読む)。2問ありますね。
- まず1問目。「まっすぐにはかった長さ」を丸囲みします。
 - あさみさんの家の赤ポツから学校の赤ポツまでの長さが問題です。
 - まっすぐに進むと何mですか(700m)。
 - まっすぐなので、この「700m矢印」です。①の脇に書きます(700m)。
 - でも、実際はまっすぐは歩けません。
 - 他の人の家の中を通ることになるからです。
 - そこで2問目。「道に沿ってはかった長さ」を丸囲みします。
 - 道に沿って学校に行くと、何mですか(800m)。
 - 「400m矢印」と「400m矢印」をあわせて「800m」ですね。脇に書く(800m)。
 - 曲がって行くので、まっすぐより長くなります。
- (5)・それぞれの長さには名前があります。
- Bさん、黄色い所を読んで下さい(読む)。
 - まっすぐに測った長さを、何と言いますか(距離)。
 - 道に沿って測った長さを、何と言いますか(道のり)。
 - 右側の絵を見ます。青矢印を「距離」、赤矢印を「道のり」言います。
 - どちらが長いですか(道のり)。
 - 「距離」とはどんな長さですか(距離とは、まっすぐに測った長さ)。
 - 「道のり」とはどんな長さですか(道のりとは、道に沿って測った長さ)。
- (6)・Cさん、②を読んで下さい(読む)。
- 2問あります。「きより」と「道のり」に丸囲み。
 - 学校の赤ポツと東山公園の赤ポツを2本の指でさします。
 - 1問目。「距離」は何mと書いてありますか(920m)。脇に書きます。
 - 2問目。「道のり」は、何mと何mを歩きますか(400mと600m)。
 - あわせて何mですか(1000m)。脇に書きます。距離の920mより長いです。
- (7)・Dさん、りくさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
- 「1000」を越えると、さすがに数は大きすぎますね。
 - ?マーク「長い長さの表し方を調べよう」とあります。
 - Aさん、黄色い所を読んで下さい(読む)。
 - 1kmは、1000mと同じ長さです。「1km=1000m」を見ながら言います。
 - 「1kmは、1000mと同じ長さです」(同同同)。
 - このような言い方もあります。
 - 「1mを1000こ集めると1kmです」(同)「1kmを1000に分けると1mです」(同)。
- (8)・脇に、「1km」の書き方があります。指でなぞります(なぞる)。
- 灰色になっている所を鉛筆でなぞり書きをします(なぞる)。
 - 「km」(キロメートル)は、1マスの中に書きます。

- ・ノートに、1km, 2km, 3km, …と書きます(書く)。 ※先生チェック
- ・Bさん、はるとさんのまとも吹き出しを読んで下さい(読む)。
- (9)・Cさん、③を読んで下さい(読む)。
- ・マラソンコース1周は1km。 ※板書 1しゅう→1km
- ・2周走ると(2km)。3周走ると(3km)。4周走ると(4km)。脇に書きます。
- (10)・Dさん、④を読んで下さい(読む)。
- ・距離の問題ですか、道のりの問題ですか(道のり)。「道のり」を丸囲み。
- ・学校の赤ポツと、たつきさんの家の赤ポツを2本指でさします。
- ・「道のり」なので、道に沿って歩きます。
- ・学校からスタート。まず400m、次に600m、そして800mを歩きます(なぞる)。
- ・さて、あわせるとどのくらいですか、という問題です。
- ・こうたさんが言っています。
- 「学校から東山公園までが、1000mは1kmと同じ長さだから」。
- ・ここまでで「1km」。そしてあと「800m」なので(1km800m)。
- ④の脇に「1km800m」と書きます。
- ・2年生の時に「3cm6mm」のような書き方をしましたが、それと同じです。
- (11)・Aさん、⑤を読んで下さい(読む)。
- ・距離の問題ですか、道のりの問題ですか(道のり)。「道のり」を丸囲み。
- ・あさみさんの家と、病院の赤ポツを2本指でさします。
- ・「道のり」なので、道に沿って歩きます。
- ・あさみさんの家からスタート。
- まず400m、次に400m、そして430mを歩きます(なぞる)。
- ・あわせます。「400+400+430=1230」なので、1230mです。書いてます。
- ・問題は、この「1230m」を「km」と「m」の2つの単位で表すことです。
- (12)・みさきさんの所を見ます。
- ・「1230mのさくらんぼ」。何mと何mに分けていますか(1000mと230m)。
- ・「1000m」に下線を引きます。「1000m」と同じ長さは何kmですか(1km)。
- 下線の下に「1km」と書きます。
- ・答えが出ました。何ですか(1km230m)。赤四角を埋めます(1, 230)。
- (13)・同じ事をノートでやります。
- ・ノートに、「1230m=□km□m」と書きます。
- ・1230mのさくらんぼを書きます(1000mと230m)。
- ・1000mに下線をひいて、その下に「1km」と書きます。
- ・□に数を埋めます。
- (14)・先生問題。「3456m=□km□m」を書きます。自力でやってみます。
- ・答え合わせをします(3km456m)。
- (15)・Bさん、⑥を読んで下さい(読む)。
- ・距離の問題ですか、道のりの問題ですか(きより)。「きより」を丸囲み。
- ・あさみさんの家とたつきさんの家の赤ポツを2本指でさします。
- ・「距離」を示す矢印はどれですか。指さします(さす)。
- ・「距離」なので、まっすぐの矢印ですね。これが1km50mと言ってます。
- 問題は、「km」を使わないで「m」の1つの単位だけで表すことです。
- (16)・問題文の「1km50m」の「1km」の所に下線を引きます。
- ・1kmと同じ長さは何mですか(1000m)。下線の下に「1000m」と書きます。
- ・「1000m」と「50m」をバナナ囲みします。 たすと何mですか(1050m)。
- ⑥の脇に書きます。
- (17)・先生問題。「2km468m=□m」を書きます。自力でやってみます。
- ・答え合わせをします(2468m)。
- (18)・別のやり方もあります。

- ・ますりんの所を見ます。マスを使って問題を解くやり方です。
- ・ノートに、「たて2マス横4マスの長方形」をかきます。
- ・上の段に「km、・、・、m」と書きます。
「キロメートル、チョン、チョン、メートル」と読みます。
- ・「1km50m」の「km」の部分。何kmですか(1km)。
「km」の下段に「1」と書きます。
- ・「1km50m」の「m」の部分。何mですか(50m)。
「m」の下段に「50」と書きます。1マスにつき、1つの数字です。
- ・ここだけが空白です。「0」を書きます。
- (19) ・このマスを見ながら読みます。
- ・「kmとmを使った長さは1km50m」(同)
- ・「mだけを使った長さは1050m」(同)「どちらも同じ長さです」(同)。

★ポイント(30503)

- (1)「きより」と「道のり」の違いが分かる。
○「きより」…まっすぐにはかった長さ
○「道のり」…道に沿ってはかった長さ
- (2)「1km=1000m」の意味が分かる。
○「1kmは1000mと同じ長さ」と読む。
○「1mを1000こ集めると1km」、「1kmを1000にわけると1m」とも読む。
- (3) 同じ長さを、「m」だけの1単位から、「km」と「m」の2単位で表す。
○「千以上の数」「千未満の数」の2つの数に分ける。
○「千以上の数」を「km」単位に直す。

等しい量の単位表現
(1単位→2単位) さくらんぼ
1km=1000mを利用する

《おしゃべり》
(1) 1230mをkmとmに直します。
(2) 1230mを1000mと230mに分けます。
(3) 1000mは1kmと同じ長さ。
(4) 答えは1km230mです。

- (4) 同じ長さを、「km」と「m」の2単位から、「m」だけの1単位で表す。
○「km」単位の部分に下線を引く。
○その下に、「m」単位に直した数を書く。

等しい量の単位表現
(2単位→1単位) バナナ
1km=1000mを利用する

《おしゃべり》
(1) 1km230mをmだけに直します。
(2) 1kmは1000mと同じ長さ。
(3) 1000m+230mなので、答えは1230mです。

- (5) 「単位ものさし」を使う。

km			m
1	0	5	0

km			m
1	2	0	0

《おしゃべり》
(1) 1200mをkmとmに直します。
(2) mの欄を一の位にして「1200」。
(3) 答えは1km200mです。

- ・「kmとmを使った長さは1km50m」(同)
- ・「mだけを使った長さは1050m」(同)「どちらも同じ長さです」(同)。

- (1)・62ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2)・追い読みをします(△1①②)。 ※追い読み→1人読み
- ・①は距離の問題ですか、道のりの問題ですか(道のり)。丸囲み。
 - ・②は距離の問題ですか、道のりの問題ですか(きょり)。丸囲み。
- (3)・①からやります。
- ・スーパーマーケットと病院を、2本指で指します。
 - ・「道のり」が問題です。脇に、式と答えを書きます。
(式 $400+430$ 答え $830m$)。
 - ・②をやります。
 - ・あさみさんの家と郵便局を2本指で指します。
 - ・「きょり」が問題です。答えは地図に書いてあります。
脇に答えを書きます($660m$)。
- (4)・Aさん、△2を読んで下さい(読む)。
- ・①は距離の問題ですか、道のりの問題ですか(きょり)。丸囲み。
 - ・②は距離の問題ですか、道のりの問題ですか(道のり)。丸囲み。
- (5)・①からやります。
- ・しょうさんの家と図書館を2本指で指します。
 - ・「きょり」が問題です。答えは地図に書いてあります。
脇に答えを書きます($1030m$)。
 - ・もう1問ありました。
 $1030m$ を、「km」と「m」の2つの単位で表して下さいということ。
 - ・2つのやり方がありましたが、どちらの方法でもいいです($1km30m$)。
ノートにやります。できたら立って説明練習。
- ※2つのやり方を黒板に書く
- ($1030m$ を $1000m$ と $30m$ に分けます。 $1000m$ は $1km$ と同じ長さ。
答えは、 $1km30m$ です)。
($1030m$ をkmとmに直します。mの欄を一の位にして1030。
答えは、 $1km30m$ です)。
- (6)・②をやります。
- ・しょうさんの家と図書館を2本指で指します。
 - ・「道のり」が問題です。脇に、式と答えを書きます。
(式 $400+800$ 答え $1200m$)。
 - ・もう1問ありました。 $1200m$ を「km」と「m」のふつの単位にします。
2つのやり方がありましたが、どちらの方法でもいいです($1km200m$)。
ノートにやります。できたら立って説明練習。
- ※2つのやり方を黒板に書く
- ($1200m$ を $1000m$ と $200m$ に分けます。 $1000m$ は $1km$ と同じ長さ。
答えは、 $1km200m$ です)。
($1200m$ をkmとmに直します。mの欄を一の位にして1200。
答えは、 $1km200m$ です)。
- (7)・Bさん、△3の問題を読んで下さい(読む)。
- ・長さの単位を、長い方から言います(km, m, cm, mm)。 ※板書
 - ・この4つの単位の中から1つを選んで、()の中に入れます。
 - ・水槽の横の長さは、 $60km$ ですか、 $60m$ ですか、 $60cm$ ですか、
 $60mm$ ですかという問題です。 ※答え合わせ
- (8)・p63を見ます。Cさん、ピカマークと①を読んで下さい(読む)。
- ・今から校庭に行きますが、やることは2つあります。

- ・ Cさんが読んだ所が1つ目です。
 - ・ 下の写真を見ます。男の子が黄色い旗を持っています。
 - ・ 遠くで座っている子がいます。指さします。
 - ・ その子は、黄色い旗から10m離れていると思う所に、石を置きました。
 - ・ そして、女の子が、巻き尺を使って確かめようとしています。
 - ・ 当たるかどうか、という場面です。
- (9) ・ やることの2つ目は②です。 Dさん、②を読んで下さい(読む)。
- ・ 「1kmを歩きましょう」と言うことです。
 - ・ 男の子が言っています「1km歩くのに、だいたい16分かかったよ」。
 - ・ けっこう時間がかかりますね。
 - ・ 校庭のトラックは大体160mです。
 - ・ $160+160+\cdots$ としていくと、6周で960m。
 - ・ だから、6周歩いてあと40m歩くとちょうど1000mつまり1kmです。
 - ・ ストップウォッチが人数分ないので、写真のようにペアで歩きます。
- (10) ・ 校庭に出たら、掲揚塔前に集まります。
- (11) ・ 掲揚塔を0mとします。ここから10mと思う所に立ちます(立つ)。
- ・ 先生が巻き尺を使って正解の所を歩きます。
 - ・ 先生とぶつかった人が正解になります。
- ※コンパスの要領で掲揚塔を基点として10mを歩く
- (12) ・ 指揮台の所に集まります。
- ・ ここに白線が引いてあります。ここをもとにして6周歩きます。
 - ・ 6周歩き終わったら、こちら側に歩きます。
 - ・ あちらに白線が引いてあります。ここから40mの所です。
 - ・ ストップウォッチをもって。何分かかるか、ペアでやります。
 - ・ 準備ができたペアから、スタートします。

★ポイント(30504)

- (1)長さの感覚を養う。
- 日常生活で使う長さの単位を選ぶ。

はじめに全部の単位を言う

- 《おしゃべり》 —
- (1)長さの単位は、長い方からkm, m, cm, mmの4つあります。
 - (2)(水槽の横)は(60cm)です。
 - (3)(ハイキング)は(4km)です。
 - (3)(算数ノート)は(3mm)です。
 - (3)(教室のたて)は(7m)です。

- 10mとはどのくらいの長さかの感覚を知る。
- ・ 基準点を0mとして、「10m」と思える所に立つ。

- 1kmとはどのくらいの長さかの感覚を知る。
- ・ ストップウォッチを持って、実際に「1km」を歩く。

- (1) ・ 65ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2) ・ まず「算数の目」をやってから「たしかめよう」をやります。
・ 追い読みをします(①の問題文まで)。 ※追い読み→1人読み
- (3) ・ 3つの道具とは何ですか(30cmものさし、1mものさし、30m巻き尺)。
・ どの長さをはかるのですか(理科室のたてと横の長さ)。
・ みさきさんは、3つの道具の中からどれを選びましたか(30m巻き尺)。
・ そのわけをみさきさんが言っています。赤四角に言葉を入れます。
・ Aさん、赤四角に言葉を入れて全部読みます(長い、読む)。
- (4) ・ Bさん、②を読んで下さい(読む)。
・ ①6mとは、何mが6こ分なのですか(1m)。赤四角に書きます。
・ ②③の赤四角にも入れます(1L, 1km)。
・ 1mや1Lや1kmのことを何と言うか、ますりんが言っています(もとにする大きさ)。囲みます。
・ もとにする大きさは、ほかに何がありますか(1mm, 1cm, 1dL, 1mL)。
- (5) ・ p64を見ます。Cさん、△1を読んで下さい(読む)。
・ 赤い「m」は8mだけしかありません。
・ もっと右へ行くと、何mになりますか(9m)。右側に赤で書きます。
・ もっと左へ行くと、何mになりますか(7m)。左側に赤で書きます。
・ アとイの記号の上に、答えを書きます(7m85cm, 8m14cm)。
・ 書いた人は立って説明練習。
(まずmを読みます。7mと8mの間なので7m何十cm。次にcmを読みます。80cmと90cmの間なので1m八十何cm。答えは1m85cmです)。
(まずmを読みます。8mと9mの間なので8m何十cm。次にcmを読みます。10cmと20cmの間なので8m十何cm。答えは8m14cmです)。
※追い読み→全員読み→1人読み
- (6) ・ Cさん、△2の問題を読んで下さい(読む)。
・ 長さの単位を、長い方から言います(km, m, cm, mm)。 ※板書
この4つの単位の中から1つを選んで()の中に入れます。
※答え合わせ
- (7) ・ Dさん、△3を読んで下さい(読む)。
・ ①は距離の問題ですか、道のりの問題ですか(きょり)。丸囲み。
・ ②は距離の問題ですか、道のりの問題ですか(道のり)。丸囲み。
- (8) ・ ①からやります。
・ あおいさんの家と学校を、2本指で指します。
・ きょりが問題です。答えは地図に書いてあります。
距離は、何と書いてありますか(1km)。
・ でも問題は何kmではなく何mですかと聞かれています。
脇に書きます(1000m)。
- (9) ・ ②をやります。
・ あおいさんの家と学校を、2本指で指します。
・ 道のりが問題です。脇に、式と答えを書きます。
(式は600+800 答え 1400m)。
・ もう1問ありました。
・ 「1400m」を「km」と「m」の2つの単位で表します。
2つのやり方がありましたが、どちらの方法でもいいです(1km400m)。
・ ノートにやります。できたら立って説明練習。
※2つのやり方を黒板に書く

(1400mを1000mと400mに分けます。1000mは1kmと同じ長さ。
答えは、1km400mです)。

(1400mをkmとmに直します。mの欄を一の位にして1400。
答えは、1km400mです)。

- (10) ・ Aさん、△4を読んで下さい(読む)。
・ ますりんの方法が出ているので、それで解きます。
・ ますりんの所を見ます。マスを使って問題を解くやり方です。
・ ノートに、たて2マス横4マスの長方形をかきます。
・ 上の段に「キロメートル、チョン、チョン、メートル」と書きます。
・ 「2km40m」。ここが「km」が入るマスです。何kmですか(2km)。
「km」の下段に、「2」と書きます。
・ 「2km40m」。ここが「m」が入るマスです。何mですか(40m)。
「m」の下段に、「40」と書きます。1マスにつき、1つの数字です。
・ ここだけが空白です。「0」を書きます。
・ このマスを見ながら読みます。
・ 「kmとmを使った長さは2km40m」(同)
「mだけを使った長さは2040m」(同)「どちらも同じ長さです」(同)。
(11) ・ 上の段に「キロメートル、チョン、チョン、メートル」と書きます。
・ 「3050m」。「km」の単位はありません。
・ 「3050m」。ここが、「m」が入るマスです。
「m」の下段を一の位にして、1マスにつき、1つの数字です。
・ このマスを見ながら読みます。
・ 「kmとmを使った長さは3km50m」(同)
「mだけを使った長さは3050m」(同)「どちらも同じ長さです」(同)。
(12) ・ スキル26番を開きます。

※スキルシステム

★ポイント(30505)

- (1)「単位ものさし」を導入する。
○4年生からの小数換算へ向けて慣れておく。
下巻の「k, d, c, m」のうち、「k」は先行して触れる。

単位ものさしの作り方
(2×4の長方形マスをかく)
「キロメートルチョンチョンメートル」
「1kmが1こ分と1mが50こ分」
「1mが1050こ分」

km			m
1		5	0

km			m
1	2	0	0

— 《おしゃべり》 —

- (1) 1km 50mをmだけに直します。
(2) kmの欄に「1」。
(3) mの欄に「50」。
(4) 空白に「0」を書きます。
(5) 答えは1050mです。

— 《おしゃべり》 —

- (1) 1200mをkmとmに直します。
(2) mの欄に「1200」。
(3) 答えは1km200mです。